



ネイチャーポジティブ 実現に向けた 小山市の取組

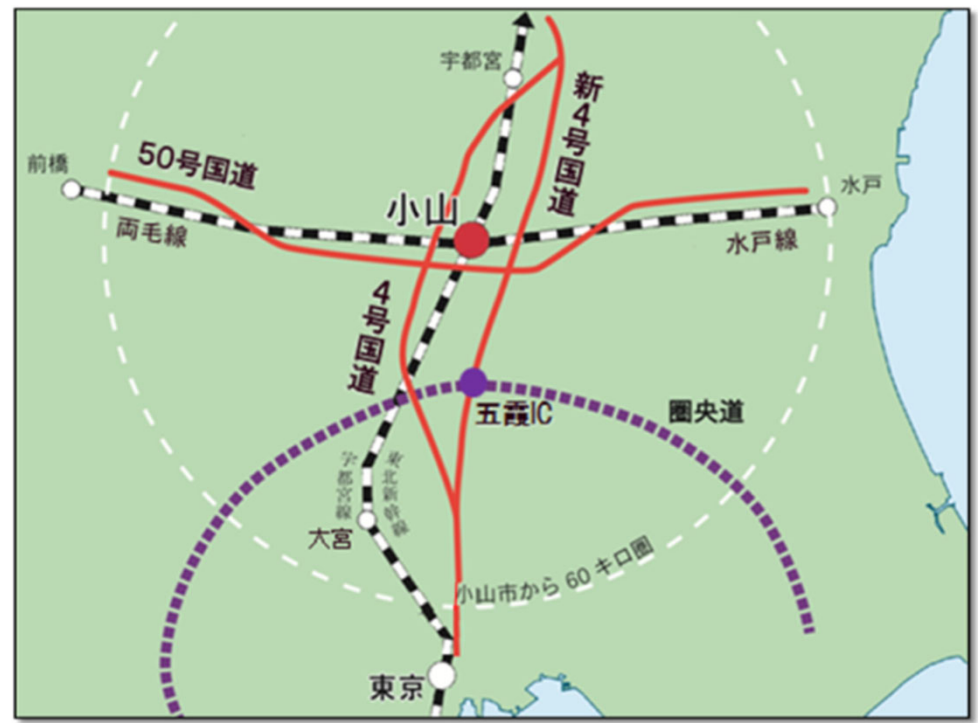
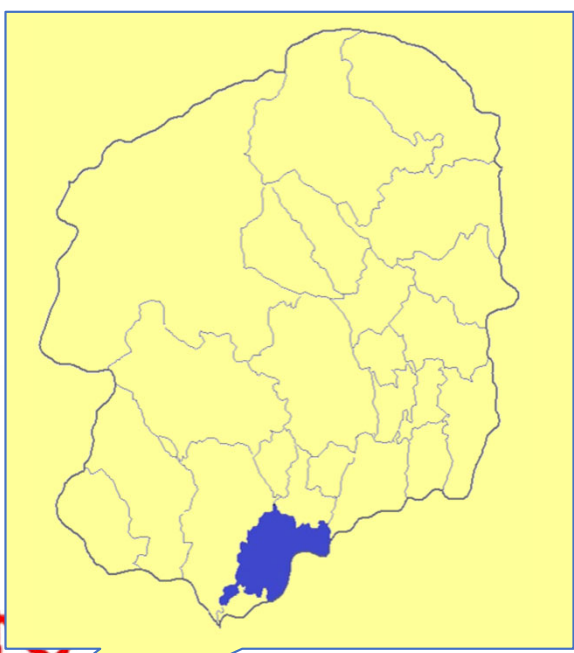
小山市 総合政策部 自然共生課 生物多様性係 係長 小久保 智史
2023.10.30 (月) J-GBF 地域連携フォーラム 資料



栃木県小山市

宇都宮に次ぐ
栃木第2の市

人口
16万7千人





- 1990年代から、コウノトリも棲める
渡良瀬遊水地を将来像に掲げ、市民活動が展開
- 多様な主体の連携により、2012年ラムサール条約湿地に
- 2020年からコウノトリの野外繁殖



撮影：写真家 堀内 洋助 氏





保全・再生

湿地再生、
コウノトリの野生復帰

国、地方公共団体

NPO、NGO

農家

地元住民

民間事業者

賢明な利用

環境にやさしい農業・
地場産業、ヨシの利活用

教育、研究機関

CEPA

エコツーリズム、環境教育、
普及啓発



市長

建設水道部

治水対策課

渡良瀬遊水地における
ハード面の保全・管理
の推進

総合政策部

自然共生課

渡良瀬遊水地における
ソフト面の保全・管理
の推進、総合的な調整

産業観光部

農政課

渡良瀬遊水地周辺地域
を中心とした環境にや
さしい農業の推進

関係部署の連携により、統合的に推進

- 2023.10/1
ネイチャーポジティブ宣言
- ゼロカーボンシティとの
同時宣言
- 市議会と市とのW署名
- 総合政策部の組織
全国でも稀有な事例？



小山市ゼロカーボンシティ&ネイチャーポジティブ宣言

近年、人の活動に伴う化石燃料の大量消費による、大気中の二酸化炭素をはじめとした温室効果ガス濃度の増加に起因する極端な気候変動は、地球上の全ての生き物に大きな影響を与え、生物多様性を損失するだけでなく、人の健康や暮らしまでもが脅かされています。

これまで、小山市は中心部に流れる思川を軸とし、市街地の周辺に農地や平地林が広がり、南西部にコウノトリが定着・繁殖したラムサール条約湿地渡良瀬遊水地を有する都市環境と田園環境が調和した「田園環境都市」として発展してきました。

しかし、気候変動の影響は、本市においても例外ではなく、局地的豪雨や猛暑による直接的な気象災害のほか、植生の変化やイノシシをはじめとする一部の野生動物の分布拡大など、生態系にも影響を及ぼしています。

自然環境の保全には、温室効果ガスの吸収源を育む以外に、自然が持つ多様な機能の活用により、防災・減災、生物多様性の保全、地域振興等の様々な地域課題の同時解決に繋がることから、温室効果ガス削減のため再生可能エネルギーの普及などを促進しつつ、平地林をはじめとする緑を守り、社会・経済も含めた総合的な環境対策について取り組むことが不可欠です。

小山市と小山市議会は、市民や事業者など「オールおやま」で、豊かな自然の田園環境と快適な居住空間、社会経済活動を保つ都市環境が調和した社会を将来の世代に確実に受け継いでいくことを決意し、ここに2050年「ゼロカーボンシティ」ならびに「ネイチャーポジティブ」を宣言します。

令和5(2023)年10月1日

小山市長

浅野正彦

小山市議会議長

篠崎佳之

田園環境都市おやまビジョン



- ・SDGsウェディングケーキモデル
- ・地域循環共生圏
- ・N b S

小山市版ウェディングケーキモデルのイメージ



田園環境都市おやまビジョン



・風土性調査

地形・地勢から地域の成り立ちを捉え、地域のひとから地域の話聞き取り、地域の守りたいものを見つける、課題を解決する

私たちが暮らしている地域の足元を
見つめ直してみませんか？

～小山市11地区「風土性調査」レポート～

20年後30年後の小山の未来を描くために、
まずは私たちが暮らしている地域の足元を見つめ直すことから。
風土性調査は、小山市全体やそれぞれの地域の大地の成り立ちや
自然、文化、伝統、地域のコミュニティのあり方などを、
フィールドワーク、文献調査、聞き取り調査、
アンケートなどを通して描き出し、
その総合的な地域の姿を「風土」として



田園環境都市おやまビジョン



・おやまアサッテ広場

ビジョンが描くのは、30年後の小山市の姿。
それを創る市民、企業、行政それぞれの視座からみた
おやまの情報を共有するまちづくりマガジン

栃木県 小山市 「田園環境都市 おやま」の未来を描きビジョンをつくる、まちづくり進行形ウェブマガジン [TOP](#)



01

はじめに共有

田園環境都市おやまのまちづくりとは

～20年後、30年後、どんなまちにしたいですか？～

30年後の小山市の姿を描く「田園環境都市ビジョン」を
みんなでつくる取組みを始めます。



- 生物多様性地域戦略

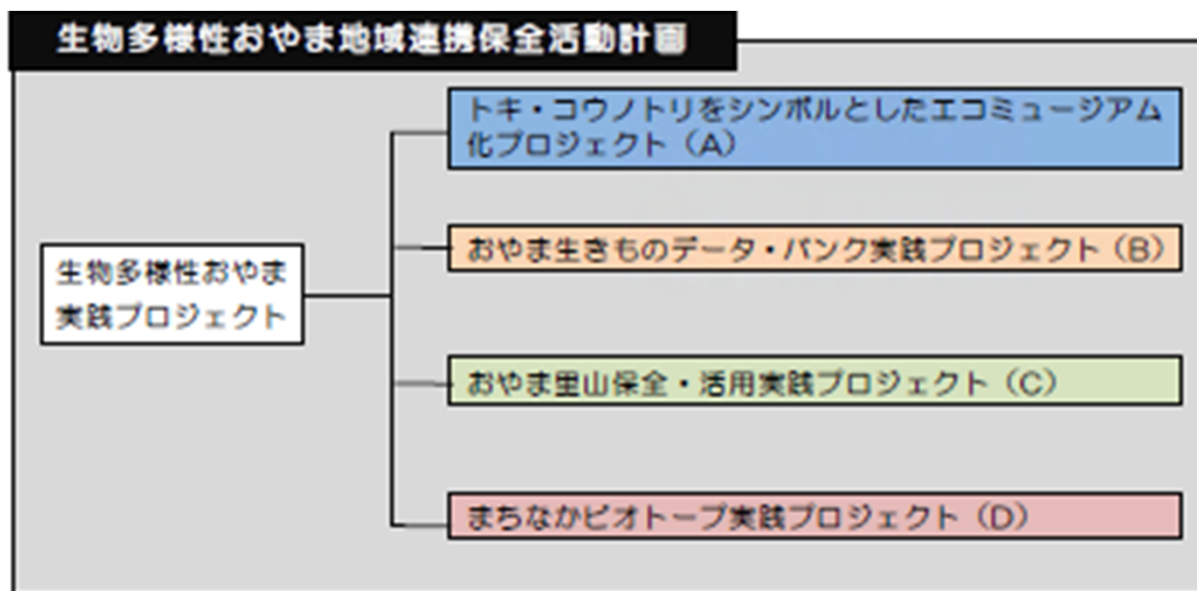
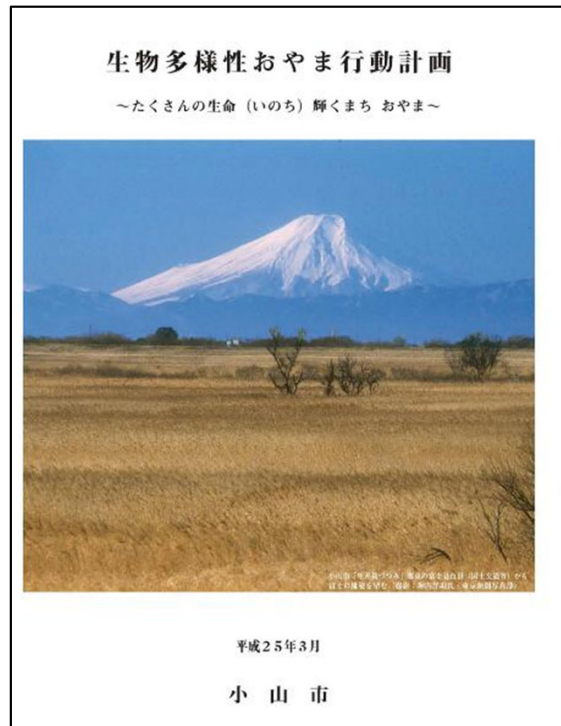
 - 「生物多様性おやま行動計画 2013.策定

 - 「生物多様性おやま戦略」 2024.3月改定(予定)

- 生物多様性地域連携保全活動計画

 - 「生物多様性おやま地域連携保全活動計画」

2014.策定

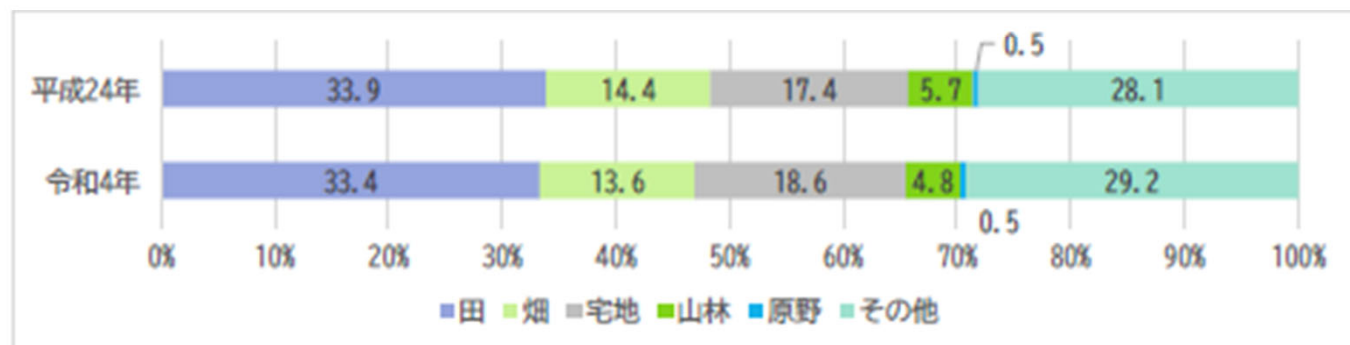
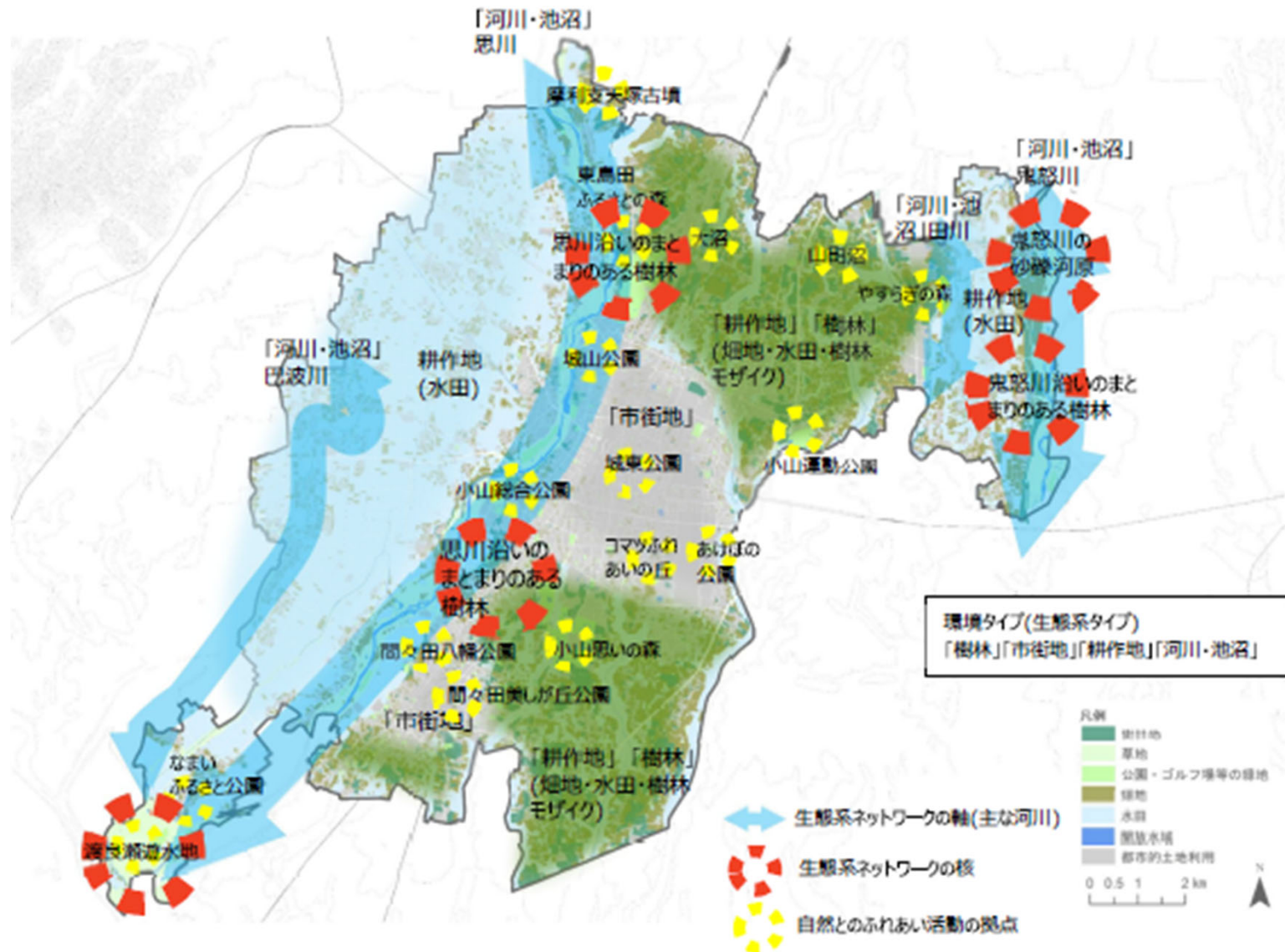




土地利用に関連する計画と整合性をとりながら、 統合的に策定

- ・ 小山市都市と緑のマスタープラン
都市計画マスタープラン
緑の基本計画
- ・ 小山市農業振興計画
- ・ 小山市環境基本計画

生物多様性おやま戦略をそれぞれの計画をつなぐ
アクションプランに・・・



小山市の地目別面積の割合

(出典:「平成25年3月小山市の概要」,「令和5年3月小山市の概要」より作成)

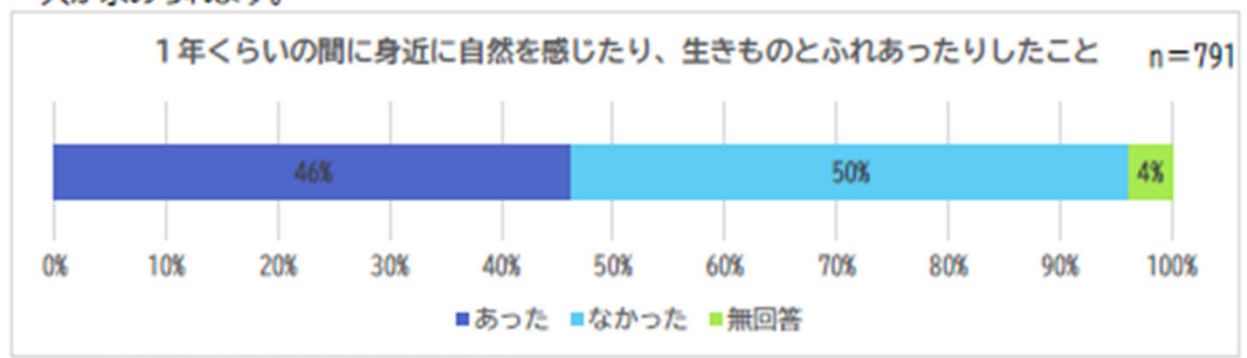


生物多様性おやま戦略リーディングプロジェクト

- ① 平地林保全・管理モデルの構築
全量調査、担い手育成、木質バイオマス
- ② 外来種対策
ガイドライン策定、フィールドでの除去活動
- ③ 市民、企業への普及啓発・行動変容
座学・フィールドワークによる育成プロジェクト

■自然や生きものとのふれあい

自然や生きものとのふれあいについてのアンケート調査結果から、回答者の半数程度は1年以内の自然や生きものとのふれあいが無かったと回答しています。今後、ふれあいの機会の拡大が求められます。



(出典:小山市都市計画課 アンケート結果)



現状

課題

地/
環境

植生/
生物

整備

認知度

3



